

一般質問(5)、用語の解説、議会 NEWS

虐待は絶対に許さない  
校則は統一ルールにすべきだ

小峰 和美(みらい)

**意見** 「ぜったいやらないからね」死亡した目黒区の女兒のノート。虐待されても「ママゆるして」に涙がこぼれた、救えた命だ。西東京市では、虐待させない、許さない、起こさない。

**質問** 2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成に向けて、多言語や絵文字を使用した表示、公共施設等のWiFi整備は、これまで以上に多面的な対応が求められる。

**答弁** 気運醸成は庁内連携組織を立ち上げ、取り組み方針を作成していく。

**質問** 婚姻届提出の際に何かのお祝いができないか。

**答弁** 他市では写真撮影ができるブース、公式キャラクターを入れた結婚証を発行しているところがある。今後、調査研究していく。

**質問** 中学校の校則について、見直しはどのように進んでいるのか。特に、制服に関しては各学校バラバラで、びつくりしたのは下着の色まで指定している。

**答弁** 学校を取り巻く社会環境や生徒の状況は変化するため、定期的に見直す必要があると考えている。

**質問** 小学校・中学校の児童生徒の呼び方の考えは。

**答弁** 相手や周囲を傷ついたり、不快感を与えないよう、具体的な指導は校長裁量の範囲内としている。

田無四中・柳沢中の学区問題  
柳沢小当事者の声に丁寧な対応を

納田 さおり(無所属)

**意見** 学区見直しに関する地域協議会を政治介入に屈したような形で立ち上げたことは誠に遺憾だ。四中の生徒数増加は私立中・都立中進学者の動向から正確に推計することが難しい状況にあり、拙速な学区の見直しは地域に大きな影響を及ぼす。柳沢小関係者の声を丁寧に聞き、その思いに寄り添ってほしい。

**地域コミュニティ再構築** 4圏域設置の地域協力ネットワークが、防災・防犯、子どもや高齢者の見守り、健康増進といった具体的な地域課題を解決するためにどのような地域力を

結果しようとしているのか今一つつかめない。市長の思い描く地域力とは。

**答弁** 自分たちのまちについて、自分たちで考え行動し、地域の課題解決に当たることで地域力が高まると考える。

**質問** 自治会・町内会の組織率が極めて低い状況にあり、学校避難所の地区をあらかじめ定め、地区住民による地域防災力の強化策を通じて、地域コミュニティの再構築に繋げるべきだ。

**答弁** 避難施設管理運営マニュアルを策定している避難所運営協議会が地域コミュニティ向上に寄与できるように活動を支援したい。

用語の解説



**\*フレイル**  
元気な状態と介護が必要な状態の中間の状態を言い、年を重ねて心身の活力が低下した状態。虚弱。

**\*ネウボラ**  
フィンランドで制度化されている妊娠・出産・子育てに関する支援施設のこと。妊娠、出産から就学前までの育児を切れ目なく継続的に支援するが特徴。

**\*イエローチョーク作戦**  
道に放置されている犬のふんを減らす方法として、ふんの周囲を黄色のチョークで囲うことで飼い主に警告する。小平市が実施する取り組み。

**\*建設キャリアアップシステム**  
建設業技能者の就業履歴や保有資格などを業界統一のルールでシステムに蓄積することにより、技能者の処遇改善や技能の研さんを図ることを目指す官民一体の取り組み。

**\*クラウドファンディング型のふるさと納税**  
ふるさと納税の寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み。通常のふるさと納税と同様に、寄附金控除を受けることができる。

議会 NEWS

政務活動費の公表  
(平成29年度 会派別収支概要)

政務活動費は、毎年度、その支出内容について、収支報告書に領収書等を添えて議長に提出します。  
ここでは、平成29年度に各会派へ交付した政務活動費の収支概要をお知らせします。

政務活動費とは

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、会派に交付するものです。本市議会では、議員1人当たり年額24万円(月額2万円)を支給しています。  
主な用途としては、調査研究に要する事務経費のほか、地方自治に関する書籍の購入、先進施策を行っている地方自治体への視察や、議会に関する研究フォーラム等への参加、議員の議会活動報告の発行等です。

平成29年度分の政務活動費の収支報告から議会図書室(田無庁舎3階)に加え、市のホームページからも領収書を含む全ての書類の写しを公開します(平成30年9月中旬予定)。

平成29年4月～平成30年3月

(単位:円)

会派名 (会派人数)		自由民主党 西東京市議団 (8人)	西東京市議会 公明党 (5人)	日本共産党 西東京市議団 (4人)	統一会派 みらい (3人) ※1	立憲民主党・ 改革フォーラム (3人)	生活者 ネットワーク (2人)	【無所属①】 市民の目 (1人)	【無所属②】 市民派無所属 西東京 (1人)
交付額		1,920,000	1,200,000	960,000	780,000	720,000	480,000	240,000	240,000
支出額	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費							37,572
	視察研修費	会派が行う先進地等への視察・研修等に要する経費又は他団体等が開催する視察・研修等への参加に要する経費	1,690,400	584,690	192,590	545,559	357,350	105,560	109,720
	広報費	会派の調査研究に係る活動、議会活動及び市の政策について住民に報告するために要する経費			626,022	163,495		106,920	130,087
	広聴費	会派が行う住民からの要望及び意見の聴取、住民相談等に要する経費					2,040		12,760
	資料作成費	会派が行う調査研究に係る活動のために必要な資料の作成に要する経費							
	資料購入費	会派が行う調査研究に係る活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費	210,342	171,408	23,400	59,400	83,484	120,928	12,600
事務費	会派が行う調査研究に係る活動のために必要な事務用消耗品の購入、事務機器のリース、文書通信(インターネット及びファクシミリ装置を用いて行う通信をいう。)その他事務の執行に要する経費	85,853	182,786	71,280	82,954	174,320	101,743	39,528	
支出額計		1,986,595	938,884	913,292	851,408	615,154	437,191	252,407	244,713
返還額(※2)		0	261,116	46,708	0	104,846	42,809	0	0

※1 統一会派みらいは、会派構成員の変更により、4月～6月は4人、7月～3月は3人に交付。 ※2 返還額とは、各会派の支出額が交付額を下回ったため市に返還された金額です。